



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社 オートウェーブ 上場取引所 東  
 コード番号 2666 URL http://www.auto-wave.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣岡 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 廣岡 勝征 TEL 043-250-2669  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,330	△4.2	△15	ー	0	ー	3	ー
28年3月期第2四半期	3,475	△16.7	△88	ー	△62	ー	△26	ー

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1百万円 (ー%) 28年3月期第2四半期 △26百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	0.26	ー
28年3月期第2四半期	△1.87	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	8,796	2,652	30.2	183.54
28年3月期	9,062	2,654	29.3	183.67

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,652百万円 28年3月期 2,654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
29年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
29年3月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,277	0.2	111	ー	144	350.0	139	172.5	9.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	14,451,000株	28年3月期	14,451,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	210株	28年3月期	210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	14,450,790株	28年3月期2Q	14,450,790株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策による効果もあり、雇用情勢・所得環境の改善が継続し景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながらアジア新興国等の景気下振れリスクや英国のEU離脱問題による金融市場の混乱など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当カー用品業界におきましては、前年度の冬季商品の販売不振による夏用タイヤへの履き替え需要の減少があったことや、国内新車販売台数が低迷していることによる車購入時のカー用品需要が落ち込む等、引き続き厳しい経営環境となりました。

そのような中、当社グループでは、新たに「平成29年3月期計画」を策定し、経営基盤の強化に取り組んでおります。車検を基軸とした収益構造への変換を行うことで収益性の向上を目指し、また多様化する顧客ニーズに応えることができるように、お客様の「不の解消」を社員ひとりひとりが考え行動することで、更なる顧客満足度の向上に努めております。

また、新たな取り組みといたしましては、お客様のカーライフの充実を促進すべく、7月より新車販売を本格的にスタートいたしました。これにより、車の販売からカー用品、ピットサービス、車検、钣金、修理に至るまで、車に係わる全ての相談・困り事をワンストップで提案・解決するためのトータルサポート体制を更に拡充いたしました。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、钣金事業にて受け入れ態勢の拡大を図ったことにより、前年同四半期を大きく上回り堅調に推移いたしました。タイヤ事業につきましては、前年度の暖冬の影響で夏用タイヤへの履き替え需要が減少し、売上高が前年同四半期を下回りましたが、仕入コスト等の見直しによる収益構造の改善を図ることで、売上総利益額では前年同四半期を上回る結果となりました。その他の事業につきましては、前年同四半期を下回る結果となりましたが、全体といたしましては、売上総利益額で前年同四半期比2.2%改善いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、人員効率の向上と固定費の圧縮を行い、前年同四半期比4.1%改善いたしました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は3,330百万円(前年同四半期比4.2%減)、営業損失は15百万円(前年同四半期は営業損失88百万円)となりました。経常利益は0百万円(前年同四半期は経常損失62百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失26百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は8,796百万円と前連結会計年度比265百万円(2.9%)の減少となりました。負債は6,144百万円となり、前連結会計年度末比264百万円(4.1%)の減少、純資産は2,652百万円で、前連結会計年度末比1百万円(0.1%)の減少となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.9ポイント増の30.2%となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、871百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、138百万円(前年同四半期は221百万円の収入)となりました。資金の主な増加項目は、減価償却費100百万円、未収入金の減少額92百万円であり、資金の主な減少項目は、仕入債務の減少56百万円、利息の支払額50百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、23百万円(前年同四半期は224百万円の収入)となりました。資金の主な減少項目は、預り保証金の返還による支出33百万円、有形固定資産の取得による支出11百万円であり、資金の主な増加項目は、敷金及び保証金の回収による収入18百万円、長期貸付金の回収による収入10百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、171百万円(前年同四半期は23百万円の支出)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出170百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異につきましては、本日(平成28年11月11日)公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表したのから変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	932,430	871,470
受取手形及び売掛金	214,116	207,596
商品及び製品	725,727	759,580
その他	345,188	231,971
貸倒引当金	△3,793	△3,711
流動資産合計	2,213,669	2,066,906
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,715,636	4,634,971
減価償却累計額	△2,128,354	△2,114,472
建物(純額)	2,587,282	2,520,499
土地	2,512,186	2,512,186
その他	1,225,959	1,171,708
減価償却累計額	△1,010,276	△966,253
その他(純額)	215,682	205,454
有形固定資産合計	5,315,151	5,238,140
無形固定資産	83,781	84,091
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,359,894	1,339,207
その他	118,988	97,330
貸倒引当金	△28,702	△28,702
投資その他の資産合計	1,450,181	1,407,836
固定資産合計	6,849,114	6,730,068
資産合計	9,062,783	8,796,974
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	351,546	294,633
1年内返済予定の長期借入金	200,000	30,000
未払法人税等	7,696	3,606
ポイント引当金	8,958	7,609
その他	371,625	394,102
流動負債合計	939,826	729,951
固定負債		
長期借入金	4,023,121	4,023,121
長期預り敷金保証金	959,468	925,913
資産除去債務	353,876	346,008
その他	132,377	119,653
固定負債合計	5,468,843	5,414,696
負債合計	6,408,669	6,144,648

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,505,877	2,505,877
利益剰余金	47,142	50,852
自己株式	△155	△155
株主資本合計	2,652,864	2,656,574
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,249	△4,248
その他の包括利益累計額合計	1,249	△4,248
純資産合計	2,654,113	2,652,326
負債純資産合計	9,062,783	8,796,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,475,269	3,330,614
売上原価	2,381,972	2,213,198
売上総利益	1,093,297	1,117,415
販売費及び一般管理費	1,181,567	1,132,899
営業損失(△)	△88,270	△15,483
営業外収益		
受取手数料	46,276	42,581
廃棄物リサイクル収入	15,726	9,792
その他	13,131	10,260
営業外収益合計	75,133	62,635
営業外費用		
支払利息	48,748	46,237
その他	812	762
営業外費用合計	49,560	46,999
経常利益又は経常損失(△)	△62,697	152
特別利益		
資産除去債務戻入額	30,655	3,056
特別利益合計	30,655	3,056
特別損失		
固定資産除却損	—	1,998
特別損失合計	—	1,998
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32,042	1,209
法人税、住民税及び事業税	3,395	3,460
法人税等調整額	△8,459	△5,961
法人税等合計	△5,064	△2,501
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,977	3,710
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,977	3,710

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,977	3,710
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△5,498
その他の包括利益合計	—	△5,498
四半期包括利益	△26,977	△1,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,977	△1,787
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32,042	1,209
減価償却費	94,681	100,926
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,308	△82
受取利息及び受取配当金	△1,790	△1,195
支払利息	48,748	46,237
売上債権の増減額(△は増加)	49,615	6,173
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,618	△34,868
未収入金の増減額(△は増加)	127,658	92,575
仕入債務の増減額(△は減少)	5,618	△56,965
賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△923	△1,349
資産除去債務戻入額	△30,655	△3,056
前受金の増減額(△は減少)	△7,106	△4,645
未払費用の増減額(△は減少)	△3,441	2,117
未払消費税等の増減額(△は減少)	△76,516	9,829
営業保証金の増減額(△は増加)	80,959	2,871
その他	50,729	35,841
小計	271,568	195,620
利息及び配当金の受取額	1,801	1,195
利息の支払額	△50,100	△50,873
法人税等の支払額	△1,314	△7,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,956	138,263
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△72,075	△11,762
無形固定資産の取得による支出	△15,400	△11,252
固定資産の売却による収入	68,314	—
敷金及び保証金の差入による支出	△11,116	△513
敷金及び保証金の回収による収入	283,507	18,329
預り保証金の返還による支出	△35,371	△33,554
預り敷金及び保証金の受入による収入	11,500	—
長期貸付金の回収による収入	10,584	10,584
資産除去債務の履行による支出	△12,555	—
その他	△2,538	5,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	224,847	△23,096
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△20,000	△170,000
リース債務の返済による支出	△3,485	△1,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,485	△171,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△4,571
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	423,317	△60,960
現金及び現金同等物の期首残高	495,849	932,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	919,166	871,470

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。